

## 第 158 回日本獣医学会学術集会 日本比較薬理学毒性学会拡大評議委員会議事録

開催日 平成 27 年 9 月 7 日 16 時～17 時

開催場所 北里大学獣医学部 第 10 会場（本館 A 棟 3 階 A31）

出席者：（帯広畜大；毒性解析）久保田、川合、（帯広畜大；薬理）石井、室井、（北大；薬理）乙黒、山口、伊藤、（北大；毒性）石塚、中山、池中、（北里大；薬理）山脇、岡田、（北里大；毒性）中村、鎌田、（東京大；薬理）尾崎、堀、（東大；放射線動物科学）村田、（日獣医大；薬理）田島、（麻布大；薬理）白井、（麻布大；毒性）代田、（日本大；薬理）齋藤、（岐阜大；薬理）海野、（大阪府立大；薬理）竹内、東、（大阪府立大；毒性）西村、中川、（鳥取大；薬理）太田、高橋、（山口大；薬理）佐藤、大浜、（宮崎大；薬理）池田、園田、（鹿児島大；薬理）、宮本、白石 [計 34 名]

### （議 事 録）

1. 第 157 回日本比較薬理学毒性学会拡大評議員会議事録（案）の承認  
出席者リストの一部訂正の上承認された。
2. 全国大学獣医学関係代表者協議会からの報告事項（第 102 回、第 103 回）  
全国協議会会長の尾崎先生より概要の報告があった。特に、共用試験実施にむけて NPO 法人獣医学教育支援機構が発足したこと、第三者評価のあり方について、現在の大学基準協会が案として出している評価システムの問題点と各大学の意見の不統一性などについて説明がなされた。
3. 国公立大学獣医学協議会からの報告事項（第 77 回、第 78 回）  
2. と合わせて同様な点が概説された。国公立協議会としては現在の大学基準協会が提案している評価案にはそのままでは同意できない状況であることが説明された。
4. 私立大学獣医学協議会からの報告事項（春、秋の 2 回分）  
社団法人化したことが報告された。また、私立大学獣医学協議会としては大学基準協会の第三者評価案を受け入れる意向であることが報告された。
5. 公益社団法人化に伴う経理・会計システムの変更と会計報告（資料②）  
会計システムの変更について事務局から説明があった。  
2014. 8-2015. 7 の収支決算書が承認された。  
2015. 8-2016. 7 の収支予算書が承認された。  
次回より、東京近郊の獣医系大学の薬理学または毒性学教員に監査役を御願ひすることが事務局より報告され、承認された。
6. 第 159 回日本獣医学会学術集会（H28. 9. 6-8 日本大学）における企画シンポジウム案  
2016. 3 月を目処に第 159 回の企画シンポジウムなどの概要について企画委員を中心に決めて行くこととなった。主宰大学（日本大学）の獣医薬理学教室：齋藤光芳先

生が担当窓口教員として紹介された。

7. 「日本比較薬理学・毒性学会奨励賞」選考方法内規（平成 22 年 9 月 17 日改定）の一部改定事項の承認について(資料③)

審査を書類審査と発表審査の 2 段階審査とする内規の変更が承認され、変更した内規は第 158 回の獣医学会から適用となった。

8. 「獣医臨床薬理学」講義開講情報とコアカリ準拠共用テキストの編集状況（A3 資料、資料④）

- ・各大学により獣医臨床薬理学の開講担当講座、開講時期がまちまちであることがアンケート調査より明らかになった。
- ・獣医臨床薬理学のコアカリテキストは比較薬理学毒性分科会の准教授を中心に執筆作業、編集作業が進められており、産業動物臨床部分は一部の産業動物臨床教員と農済の獣医師、ウマの臨床部分は JRA の臨床獣医師により執筆されている。発行は 2016. 3 月を予定。現在は 4 校の段階。
- ・現状としてテキストは薬理毒性分科会が中心になって作成し、実際の講義は薬理学講座が担当する大学は 16 大学中 9 大学で、他は臨床講座が担当する点や、共用試験の獣医臨床薬理学の出第委員も臨床講座の教員が多い点で、ある種のゆがみが生じている。原因として、コアカリの到達目標が多数臨床講義科目と重複している点が挙げられる。
- ・今後、コアカリの変更による獣医臨床薬理学と臨床科目との差別化、共用試験出題委員の薬理系教員からの選出、出題問題の内容を臨床科目の出題問題と差別化するなど、の対応が必要であろう。
- ・テキスト発行前に講義が始まる大学には、教員にテキストの 4 校ゲラなどを配布することで対応したい（近代出版と討議中）

9. 日本比較薬理学毒性学会 HP の管理について

- ・山口大学の佐藤先生から、大阪府立大学西村先生に HP 管理業務を移動することが承認された。

10. 日本比較薬理学毒性学会所属の評議員推薦についての御願い

- ・竹内会長から積極的に本学会所属の評議員を推薦することが依頼された。

11. 新任・昇格教員の紹介（H26. 9 月以降の異動・着任について）

- ・北海道大学獣医薬理学研究室伊藤茂男教授→定年退職
- ・帯広畜産大学薬理学講座の室井喜景助教→同講座の准教授に昇格
- ・帯広畜産大学毒性解析分野→川合佑典助教着任
- ・北里大学獣医薬理学の山脇英之准教授→同講座の教授に昇格
- ・岩手大学比較薬理学毒性学教室古濱和久教授→定年退職
- ・岩手大学動物医学食品安全教育研究センター→佐藤洋特任教授着任

## 12. その他

- ・次回は第159回日本獣医学会学術集会（日本大学主宰）開催期間中に開催予定。
- ・薬理毒性分科会の口座繰り越し金(175万円程度)の使い方について竹内会長より案を出してもらおうよう、要請があった。